

第 68 回 日本産科婦人科学会学術講演会

平成 28 年 4 月 21 日(木)～24 日(日)にかけて東京国際フォーラムにて第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会が開催されました。

当会は東京医科大学産科婦人科学分野、井坂恵一教授を会長とし、開催されました。

「次世代への継承と Standardization」をテーマに、これまでそして次世代へ向けた医療展開について様々な視点から発表がくまれました。参加者も 9400 人と、大変盛況でした。

当大学からは、豊島将文先生が International Session Award Candidate に選出され、「Casein kinase I epsilon is a novel molecular target for c-Myc driven ovarian cancer」と題して発表されました。また辻圭太先生・岡本聡先生が International Session Mini Workshop で発表され、活発な討論が展開されました。

生涯研修プログラムでは、西郡秀和先生が「周産期メンタルヘルス—パートナーから次世代まで—」と題して発表されました。

本学会では様々な企画も催され、22 日には「Stump the Professors～教授陣と知恵くらべ」と題して若手医師が症例提示して教授陣に挑むという企画でした。当大学から濱田裕貴先生も若手医師団として参加され、大変盛り上がりました。23 日に行われた学生フォーラムでは本学 6 年生武田健一郎君が発表しました。

新専門医制度となり多くの講習会も併催され、非常に多くの医師・コメディカルが参加していました。シンポジウムでは、低侵襲手術の確立に向けてということでセンチネルリンパ節検査・腹腔鏡下手術について新しい知見をふまえた講演を聴くことができました。

本学会では東北大学から多くの演題が出され、何事もなく無事に発表・座長を行うことができました。今回の学会なども参考に、2018 年仙台で開催されます第 70 回日本産科婦人科学会を盛り上げていきたいと思ひます。



座長：八重樫 伸生、伊藤 潔、木村 芳孝

ランチョンセミナー：高野 忠夫

ビデオセッション：新倉 仁

生涯研修プログラム：西郡 秀和

JSOG 婦人科腫瘍委員会 JSGO ガイドライン委員会共同企画：重田 昌吾

International Session：木村 芳孝、豊島 将文、岡本 聡、黒澤 大樹、辻 圭太、重田 昌吾、
濱田 裕貴、石橋 ますみ、佐藤 いずみ、湊 敬廣、櫻田 尚子、土岐 麻実、伊藤 拓哉

一般演題：城 伶史、田中 恵子